

大モントリオールで 人工知能に投資する 多数の理由





目次



01

力強く成長し続ける
大都市であり戦略的な位置を
保持するモントリオール
p.3

02

付加価値の高い業界に
おける世界的なリーダー
p.6

03

増え続ける 高技能労
働力の豊富な供給源
p.9

04

魅力的な経営費と
インセンティブ
p.12

05

快適な生活
p.16

06

Montréal Internationalの
無料できめ細やかな
高い機密性を誇るサービス
p.19



力強く成長し続け、戦略的な位置を保持する北米の大都市



人口

- 420万人の居住者
- 23%が海外生まれ (モントリオール市には34%)



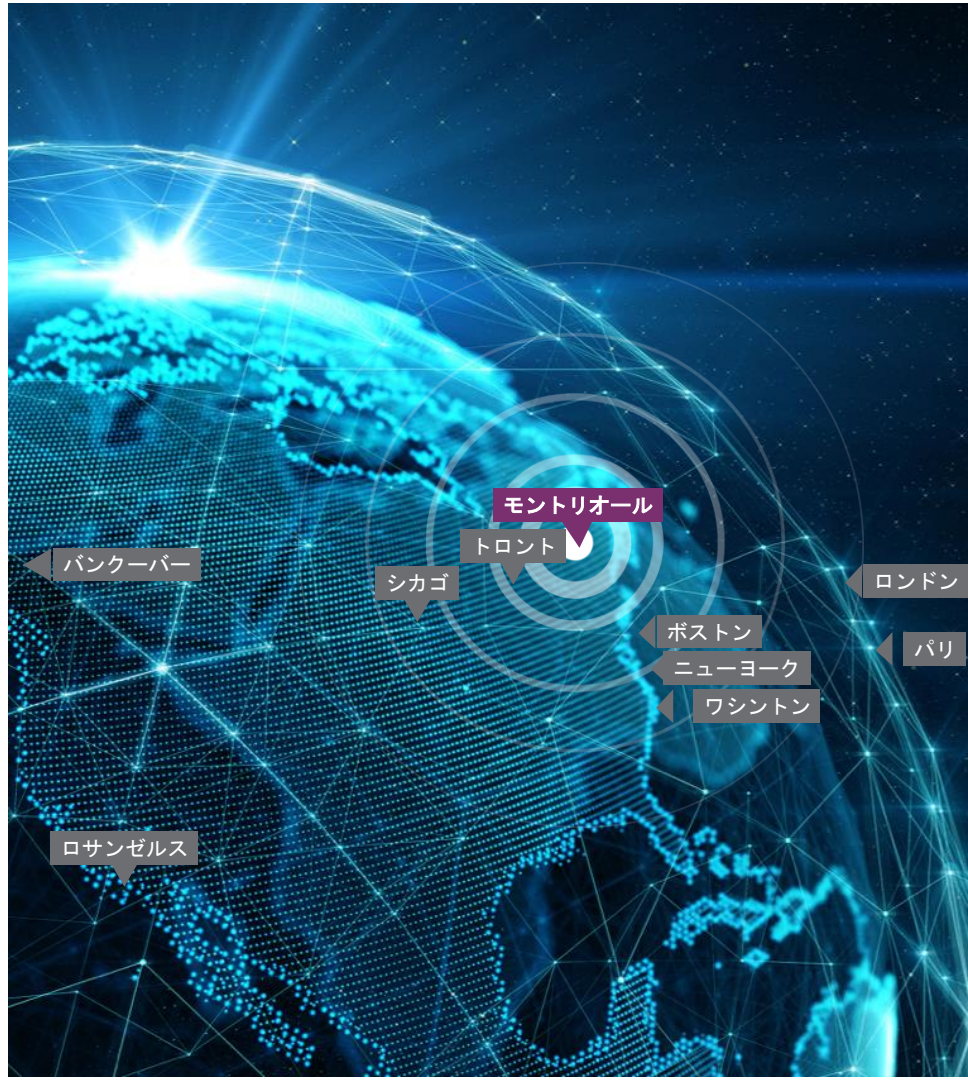
経済

- 2018年度のカナダにおいて経済成長が最高 : GDP3.6%増
- 失業率 (2018年度) : 6.1%
- 2018年度に2億5千万ドルもの海外からの直接投資がMontréal Internationalを通して行われた



配置

- 1つの大都市圏で82の市町村を含む
- ボストンやニューヨークからたった90分のフライト
- アメリカの国境まで車で1時間以内





世界のGDPの70%が 目の前にある

NAFTAやCETA、CPTPP、その他12の現行の
自由貿易協定 * のおかげ

1億5千万人の裕福な消費者、
そして合計55兆ドルのGDPへの直接のアクセス
(世界の商品・サービス生産高の70%)

G7のすべての国と自由貿易協定を
持っているのはカナダのみ

* 北米自由貿易協定 (NAFTA)、カナダEU包括的経済貿易協定 (CETA)、環太平洋
パートナーシップ協定 (CPTPP)

出典：Invest in Canada, 2019年; The World Bank, 2017年。

高品質の交通インフラへのアクセス

AÉROPORTS DE
MONTRÉAL

- 2018年度には**1940万人の乗客**(6.9%増)
- **119ヶ所への国際線**を含め（内28ヶ所がアメリカ国内）、**150以上の目的地への直行便**があり、カナダの最も国際的な空港である
- 5年間にわたる**250万ドル**の大規模な投資

PORT  MONTRÉAL

- カナダで**2番目に大きい港**で、カナダ東部で**1番目のコンテナ港**
- **3800万トン**（36%がコンテナ貨物）の商品が毎年通過
- 今後数年にわたる**大規模な投資**が発表されている



出典：Aéroports de Montréal, 2019年; Montreal Port Authority, 2017年; CargoM, 2019年。

モントリオールのビエール・エリオット・トルドー国際空港 © ADM

付加価値の高い業界で世界的なリーダー



1番目

世界で深層学習
の研究者が多い



1番目

視覚効果とアニメーション
においてカナダで1番で
世界のリードしている



5番目

家庭用ゲーム開発
の世界的な拠点



2番目

北米で2番目に
大きい航空宇宙の
拠点



6番目

北米で6番目に大きい
生命科学・医療技術の
拠点

大モントリオールにある 主要企業一覧



世界的な規模の 人工知能の拠点

- 人工知能分野への1億ドル以上の投資が2016年から大モントリオールで見込まれている
- カナダ政府はモントリオールを**SCALE AI** (カナダの人工知能 サプライチェーンのスーパークラスター) の拠点として選出
- より良い世界を目指す勢いのある団体と主要な企業が揃っている





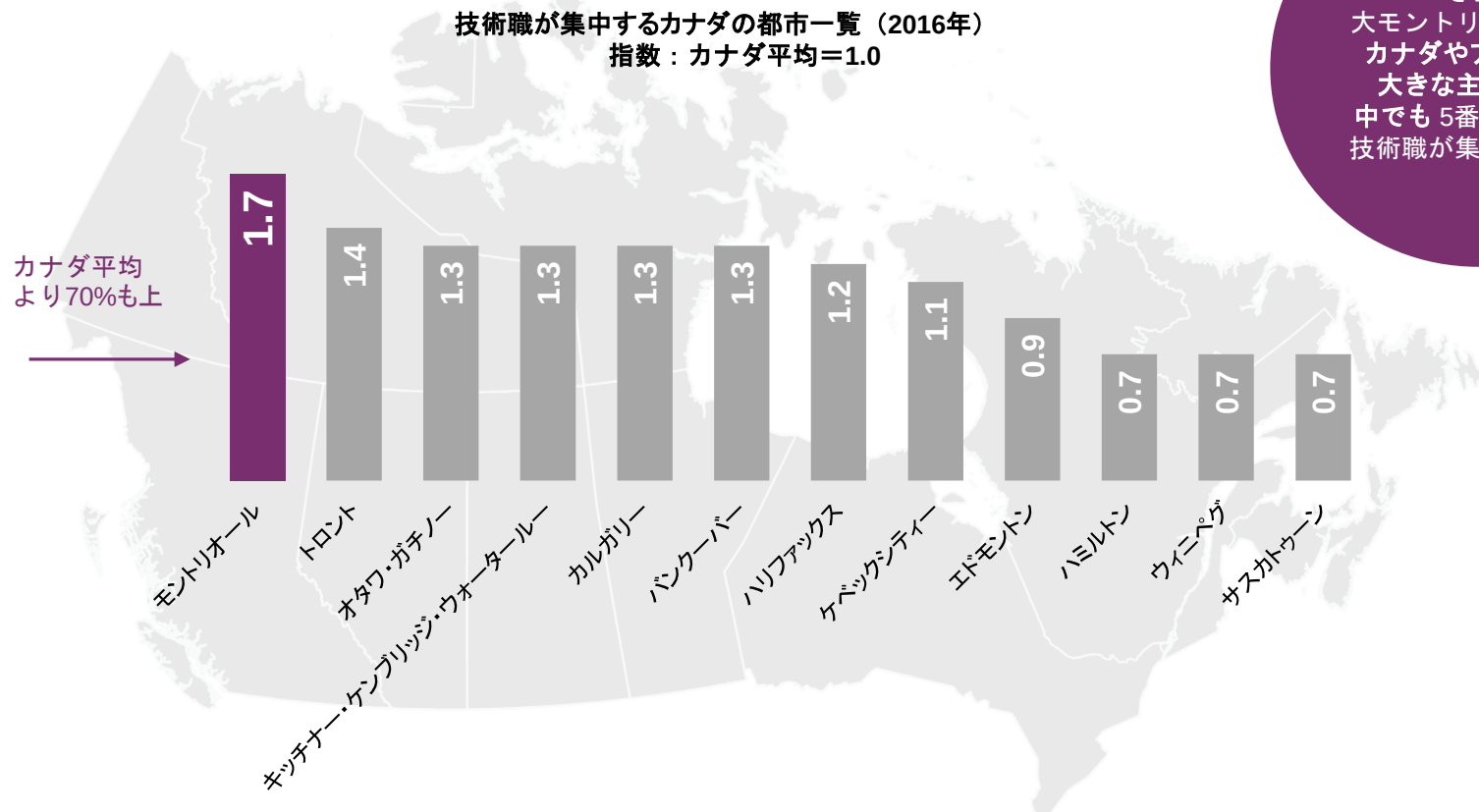
急増するスタートアップの エコシステム

- 世界でも屈指のスタートアップのエコシステムの一つ
- 2018年時点でモントリオールに8億6100万ドルのベンチャーキャピタル金融 (29%増)
- 30を優に超えるインキュベーターやアクセラレーター
- 45を超えるコワーキングスペース



出典: “Global Ecosystem Report”, 2018年; “Montréal Startup Ecosystem Report”, Credo, 2016年; “Midterm Report” – Smart City, 2017年2月; Canadian Report “Money Tree”, PwC Canada | CB Insights, 2019年。

カナダの中で一番高度な技術職が集中



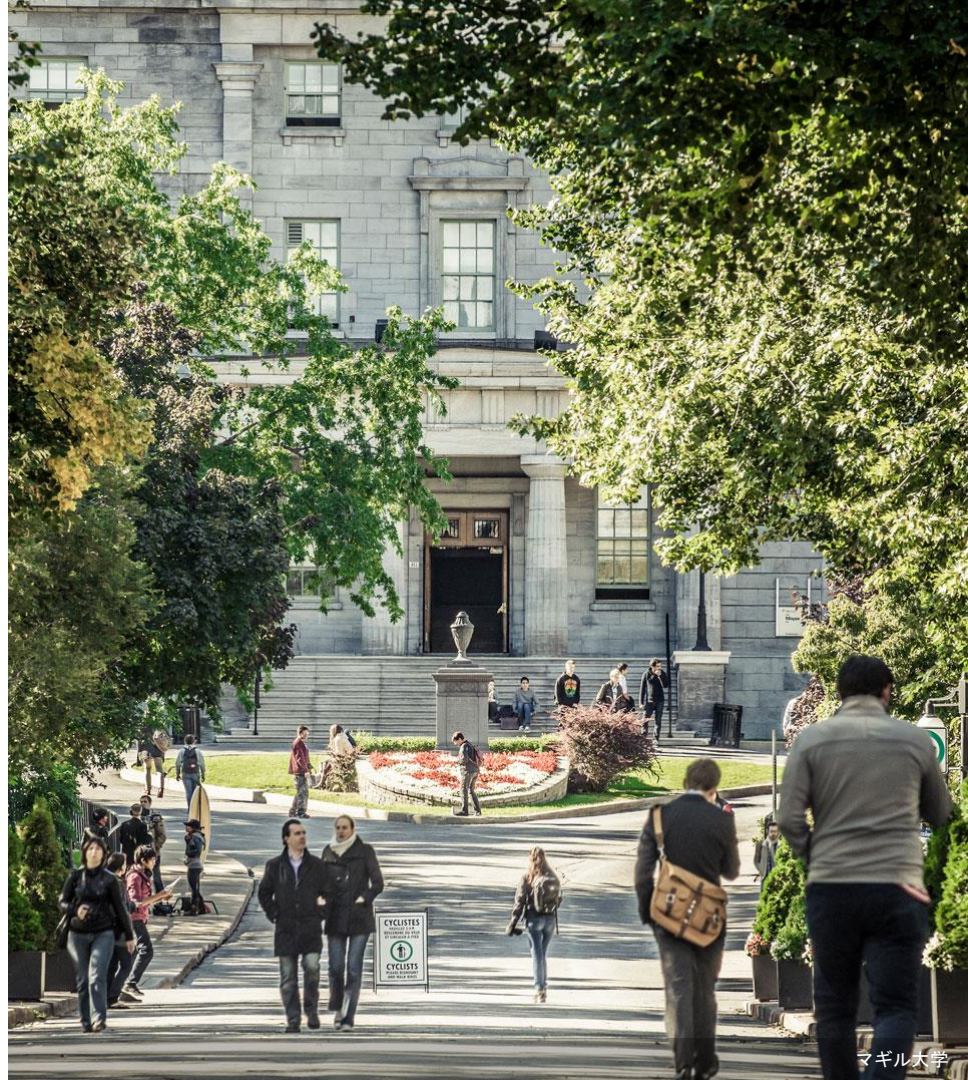
さらに
大モントリオールには
カナダやアメリカの
大きな主要都市の
中でも 5番目に高度な
技術職が集中している。

アメリカ大陸で一番の学生都市で 大学が一番多いカナダの都市

- カナダで大学が最も多い：11の大学と60の専門学校
- 201,000人の大学生と35,500人の留学生を含む、
320,000人の高等教育を受ける学生たち
- 大学レベルの研究のための1億ドル以上の基金
- アメリカ大陸で一番の学生都市：



1	モントリオール
2	ボストン
3	トロント
4	バンクーバー
5	ニューヨーク





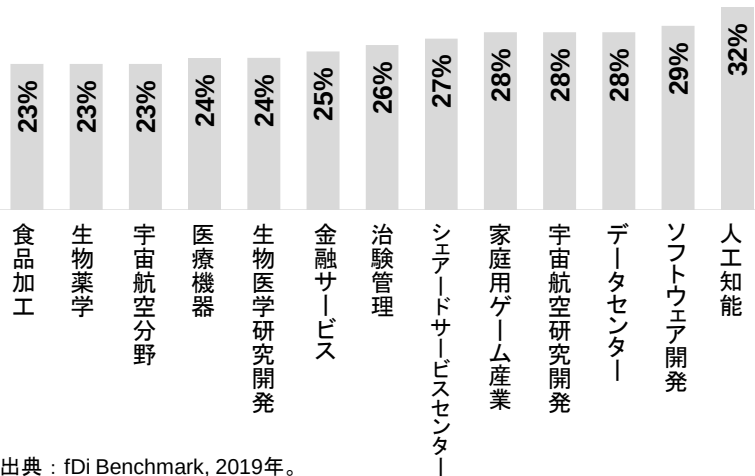
カナダでバイリンガルやトライリンガルが最も多い大都市圏

- 英語を話す人の割合がバンクーバーより9%多く、250万人もいる。
- 人口の55%がバイリンガル（英・仏）である（トロントは8%でバンクーバーは7%）。
- 人口のほぼ20%が3つ以上の言語を流暢に話せる（トロントは4%でバンクーバーは3%）。

様々な事業に とても魅力的な経営費

- およそ、大モントリオールでの経営費は
カナダやアメリカの他のどの大都市圏よりも低い
- 平均して、高度な技術職の業界で26%以上のコスト
優位性がある：

カナダとアメリカの20の主要大都市圏と比較した
大モントリオールの有利な経営費(2019年)

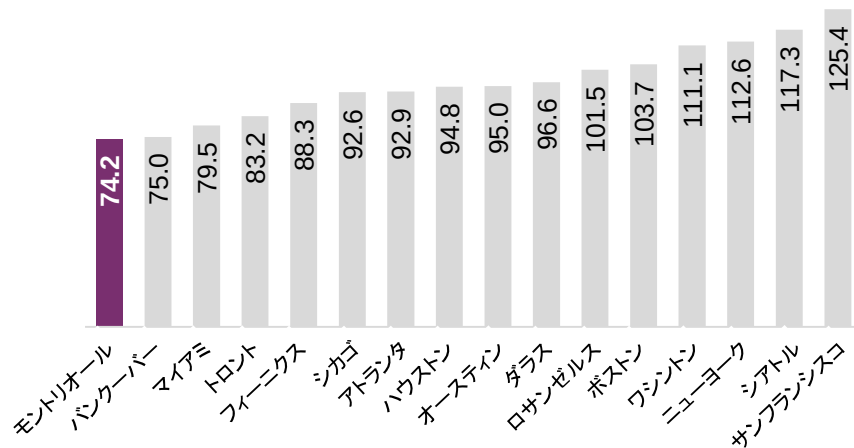




最も低い技術労働者の給与

大モントリオールの技術労働者の給与が平均で74,200米ドルで、カナダやアメリカの中で一番低い。

カナダとアメリカのいくつかの主要大都市圏における
技術労働者の平均年俸(単位:1000米ドル)



非常に有益なインセンティブへの簡単なアクセス

大規模な計画とイノベーション

助成金、無利子の融資、キロワット
当たり3.98セントという大電力の競争的な
低いレート*など様々な支援が利用可能

労働力成長

助成金の事例：

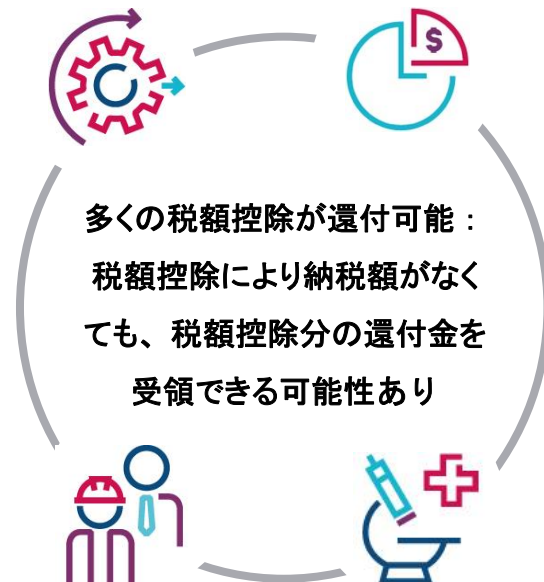
- 研修プログラムの適用費用の25%
- 人事部の創設費用の50%

業界別の税額控除

- 映画と動画制作：38%まで控除
- マルチメディア制作：37.5%まで控除
- 電子商取引の開発：30%まで控除
- 国際金融センター：24%が控除

研究開発

- 研究開発費に30%までの税額控除
- 外国人研究者や専門家のための免税期間



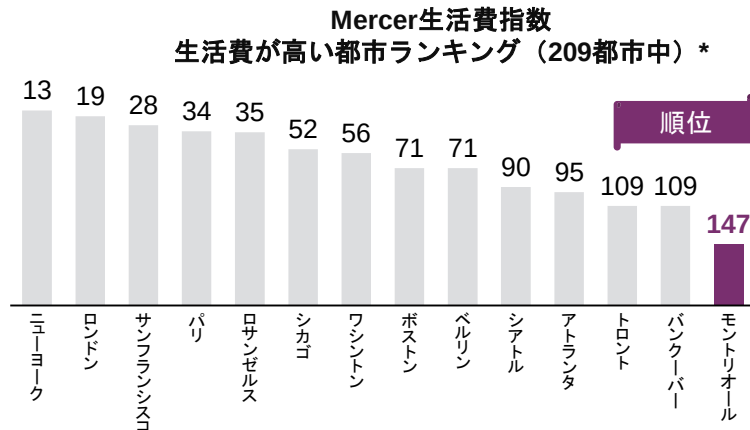
注

* LGレート：負荷率 95%の120キロボルトの供給のための、電力の輸送・配電を含み5000キロワットを超える、大電力の請求が対象。該当する場合、経済成長率による低減も含める。



安価な生活費

大モントリオールは北米や西欧の他の大都市よりも生活費が安く済む：



大モントリオールで購買力が高い理由：

- 安価な住宅
- 豊かな家族手当
- 低額の民間医療保険費
- 手頃な子供手当

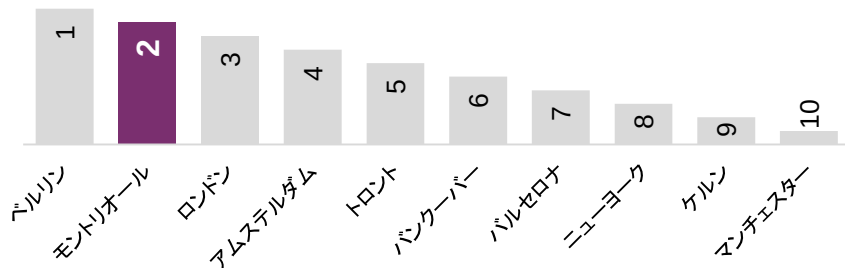
* 順位の高さは生活費が高いことを意味する。

出典：“Cost of Living Survey”(生活費調査), Mercer, 2018年。

快適な生活

モントリオールはミレニアル世代にとって
世界で2番目に良い都市である：

Nestpick Millennial Cities Ranking, 2018
World rank



- 殺人発生率がカナダやアメリカの主要大都市圏20の中で最も低い
- 無料で提供される医療手当
- 北米で最も低い学費
- 100以上の催し物と70の博物館があり
活気のみならず文化的な主要都市





世界的な認識

カナダで1番、世界で6番目の都市

TimeOut, 2019年

アメリカで最も評判の良い都市

Reputation institute, 2018年

アメリカで一番の学生都市

QS Best Student Cities 2018年

カナダとアメリカで最も生活し易い主要都市

UBS prices and earnings, 2018年

北米で最も自転車に優しい都市

Coya, Global Bicycle Cities Index, 2019年

世界で3番目に友好的な都市

Rough guides, 2016年

2006年よりユネスコデザイン都市に認定

北米における国際交流イベントの有力開催都市

国際団体連合、2018年

「私たちのモンリオールへの取り組みは、モンリオールのオフィスから始まりました。モンリオールにGoogleブレインセンターを開設し、モンリオール学習アルゴリズム研究所（MILA）を支援するための450万ドルの投資[...]もその一環です。モンリオールの専門性の高まりは、国際的な注目を集めています。」

グーグル・ケベックの常務、ラモッテウ・マリジョゼ (Marie-Josée Lamothe) 氏

Google

「大モンリオールは、大学、研究機関、産業界、そして政府間の非常に開かれた協働の精神と共に、生命科学の企業に非常に心地良い環境を提供します。また、モンリオールインターナショナルが提供する戦略的サポートについても、彼らのパートナーと共に、当社の成長に積極的に貢献してきました。」

メドトロニック（カナダ）の社長
フレイザー・ネイル (Neil Fraser) 氏

Medtronic

「マイクロソフトは、モンリオールの学部、学生、そしてより広範な技術コミュニティと交流することに興奮しています。これは、AIの研究とイノベーションの世界的なハブとなりつつあります。」

マイクロソフトの社長
スミス・ブラッド (Brad Smith) 氏

Microsoft

「私たちは本当に賢い問題解決者を雇うのが好きです。そして、ケベック大学は我々が必要とする種類の才能を生み出しています。私たちの（モンリオールに居を構えることにした）決定は、ローカル市場でのスキルの利用可能性、市場規模、コスト、現地のインセンティブ、大学プログラム、卒業生の数を調査した市場調査に基づいています。」

モルガンスタンレー
在モンリオール技術センター
常務ベスプリニ・アラン (Alan Vesprini) 氏

Morgan Stanley

「他の地域でもこれらの重要な成功要因の1つ以上を提供してくれますが、大モンリオールはそれらを私たちのニーズと密接に連携した社会経済的モデルに組み合わせることに成功したので際立っています。」

ユビソフトモンリオールの総務部の副社長
バイエ・フランシス (Francis Baillet) 氏

UBISOFT
MONTREAL

「モンリオールの世界規模の才能と創造性の唯一のエコシステムと製造力を活用して、世界の倫理的人工知能の適用を進めたいと思っています。」

タレス・グループ
会長兼CEO ケーン・パトリス (Patrice Caine) 氏

THALES

Montréal internationalの無料な、きめ細やかで高い機密性を誇る 様々なサービスへのワンポイントアクセス



長期の
戦略的支援



経済データと
コミュニケーション
サービス



政府
関係促進



投資プログラム
支援



外国人
労働者
移民支援



国際的な
採用活動



連絡先



Montréal
International

Montréal International
380 Saint-Antoine Street West
Suite 8000
Montréal, Québec H2Y 3X7

電話番号 +1 514-987-8191
www.montrealinternational.com

Claire Yu (クレーア・ユー)
専務取締役・アジア太平洋地域
t +1 514-987-9359
e Claire.yu@mtlintl.com

Marika Tassoni
プロジェクトマネージャー・アジア太平洋地域
t +1 514-987-9379
e Marika.tassoni@mtlintl.com

このドキュメントは Montreal International の所有物です。内容が改変されず Montreal International がこの著作物の発行者として明記されている限り、全体または部分の複製を許可します。しかしながら、いかなる場合にも、Montreal International と関係のない変更や言及を含む等、この発行物の著作権者に関して誤った印象を生む可能性のある方法で著作物を使用することは禁止されています。